DVDプレーヤー

GH-DV100S/K

取扱説明書　V1.20

お買い上げいただき、誠にありがとうございます。

ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。

また、お読みになった後も大切に保管してください。



本機は、日本国内専用に製造、販売されています。日本国外ではご使用できません。

This product is manufactured and sold for Japanese domestic market only.
This product can not be used outside Japan.
We have no responsibility for any issues caused by the use of this product outside Japan.
We also do not have any technical support and service for this product in other countries.

設置の手順

付属品を確認します。
（1ページ）



本取扱説明書に書かれている安全上のご注意、使用上のお願いをよく読みます。
（4～22ページ）



準備を行います。
（25ページ）



本機の電源を ON にします。
（25ページ）

付属品の確認

パッケージの中に下記のものがすべて入っているかどうかご確認ください。

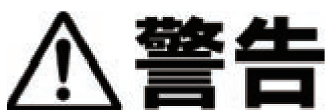
●GH-DV100S/K（本体）	・・・1 台
●専用リモコン	・・・1 個
●映像/音声出力専用ケーブル(コンポジット)	・・・1 本
●単 4 形アルカリ乾電池(リモコン用)	・・・2 本
●取扱説明書(本書)	・・・1 部
●1年間保証書	・・・1 枚

目次

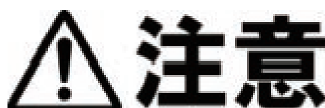
安全に正しくお使いいただくために、必ずよくお読みください

この取扱説明書は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

■表示の説明



この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

なお、⚠注意に記載された事項、及び本文中の注意事項でマークの無い注意事項でも状況によっては、重大な結果に結びつく可能性があります。必ず「ご使用上の注意」を守ってください。

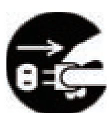
■絵表示の例



△ 記号は注意（警告を含む）しなければならない内容であることを示しています。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

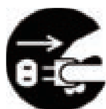


⦸ 記号は禁止（やってはいけないこと）を示しています。
図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



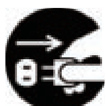
● 記号は行動を強制したり指示する内容を示しています。
図の中や近くに具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く）が描かれています。

⚠警告（もし異常が起こったら）



●煙が出ていたり、変なにおいや音がするときは、すぐに電源スイッチを OFF にし、電源ケーブルをコンセントから抜く。

そのまま使用すると火災・感電の原因となります。煙が出なくなるのを確認し、販売店または弊社カスタマサポートに修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。



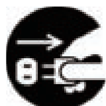
●内部に水や異物が入った場合は、すぐに電源スイッチを OFF にし、電源ケーブルをコンセントから抜く。

そのまま使用すると火災・感電の原因となります。販売店または弊社カスタマサポートにご連絡ください。



●落としたり、キャビネットを破損した場合は、電源スイッチを OFF にし、電源ケーブルをコンセントから抜く。

そのまま使用すると火災・感電の原因となります。販売店または弊社カスタマサポートにご連絡ください。



●電源ケーブルのコードが傷んだり、発熱したときは、すぐに電源スイッチを OFF にし、電源ケーブルをコンセントから抜く。

そのまま使用すると火災・感電の原因となります。販売店または弊社カスタマサポートにご連絡ください。

⚠警告

電源について


100V 以外禁止

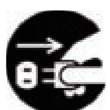
●交流100ボルト(50/60Hz)のコンセントに接続する

交流100ボルト以外を使用すると、火災・感電の原因となります。また、たこ足配線等で、コンセントや配線器具の定格を超えて使用しないでください。発熱による火災の原因となります。


禁止

●国外で使用しない

本機を使用できるのは日本国内のみです。船舶などの直流(DC)電源には接続しないでください。火災の原因となります。



●電源プラグの刃および刃の付近にほこりや金属物が付着している場合は、電源ケーブルを抜いてから乾いた布で取り除く

そのまま使用すると火災・感電の原因となります。また、電源ケーブルの刃にほこりがたまると自然発火(トラッキング現象)を起こす可能性があります。年に数回、定期的に刃のほこりを取り除いてください。


禁止

●電源プラグのコードの上に重いものをのせない

コードが本機の下敷きにならないようにしてください。また、コードが引っ張られないようにしてください。コードが傷ついて、火災・感電の原因となります。コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気づかず、重い物をのせてしまうことがあります。


禁止

●電源プラグのコードを
・傷つけたり、延長するなど加工したり、加熱したりしない
・引っ張ったり、はさんだりしない
・無理に曲げたり、ねじったり、束ねたりしない

コードが破損して火災・感電の原因となります。コードが傷んだら(芯線の露出、断線など)、販売店または弊社カスタマサポートに交換をご依頼ください。

⚠警告

設置について



禁止

●ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所や振動のある場所に置かない

本機が落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。



風呂場・シャワー室での使用禁止

●風呂場・シャワー室など、水のかかる恐れのある場所では使用しない

火災・感電・また故障の原因となります。



水ぬれ禁止

●水が入ったり、ぬらさないようにする

本機は防水設計されておりません。ぬらさないようにご注意ください。

内部に水が入ると、火災・感電の原因となります。

使用について



分解禁止

●修理・改造・分解はしない

本機のキャビネットを外したり、改造したりしないでください。内部には、電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店または弊社カスタマサポートにご依頼ください。



ぬれ手禁止

●ぬれた手で電源ケーブルを抜き差ししない

感電の原因となることがあります。

⚠警告


禁止

●異物を挿入しない

ディスクトレイから、内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。


接触禁止

●雷が鳴り出したら本機や電源プラグに触れない

感電の原因となります。

⚠注意

設置について


必ず行う

●電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと、発熱したり、ほこりが付着して火災の原因となることがあります。また、電源ケーブルの刃に触れると感電することがあります。


禁止

●電源プラグは、根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントに接続しない

発熱して火災の原因となることがあります。販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。


禁止

●電源プラグを抜く時はコードを引っ張らない

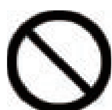
コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。必ずコンセント部を持って抜いてください。


禁止

●電源プラグのコードを熱器具に近づけない

コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

⚠注意



禁止

●温度が高い場所に置かない

窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所、ストーブの近くなど、異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。火災の原因となることがあります。また、破損、その他部品の劣化や破損の原因となることがあります。



禁止

●調理台や加湿器のそばなど、油煙、湿気、ほこりの多い場所に置かない

電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災・感電の原因となることがあります。また、たばこの煙なども機器の故障の原因になることがあります。



注意

●移動させる場合は外部の接続コード類を外してから行う

コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。



注意

●接続する機器の取扱説明書の指示に従う

テレビ、オーディオ機器、スピーカー等に機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また、接続は指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したりコードを延長したりすると、発熱し、やけどの原因となることがあります。

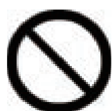
使用について



注意

●電源を ON にする前には音量を最小にする

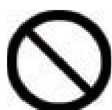
過大入力で本機に接続したスピーカーが破損したり、突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。



禁止

●ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しない

ディスクは機器内で高速回転しますので、飛び散ってけがの原因となることがあります。

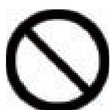
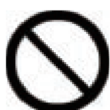
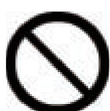
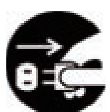


禁止

●本機のレーザー光源をのぞきこまない

レーザー光が目に当たると、視力障害を起こすことがあります。

⚠注意

 禁止	●長時間音が歪んだ状態で使わない 本機に接続したスピーカー等が発熱し、火災の原因となることがあります。
 禁止	●本機に乗ったりしない 特にお子様はご注意ください。倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。
 注意	●ピックアップレンズに触れない ピックアップレンズに触れると故障の原因となることがあります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。
 禁止	●テレビやオーディオシステムの音量を上げすぎない 音量を上げすぎると、耳への刺激で聴力に悪い影響を与えたり、ご近所の迷惑になります。特に夜間は、日中よりも音量を下げるようにしてください。
	●旅行などで長期間ご使用にならない時は、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜く 通電状態で放置、保管すると、絶縁劣化、漏電などにより、また万一故障したとき、火災の原因となることがあります。また、ディスク保護のため、ディスクも取り出しておいてください。

⚠注意

乾電池について


禁止

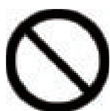
●指定以外の電池は使用しない
●新しい電池と古い電池、種類の違う電池を使用しない
電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。


注意

●極性表示（プラス（＋）マイナス（－）の向き）に注意し、表示通りに入れる
間違えると、電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。


電池を取出す

●長時間使用しない時は、電池を取り出す
●電池に表示されている[使用推奨期限]を過ぎたり、使い切った電池は入れておかない
電池から液がもれて火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。もし液がもれた場合は、電池ケースについた液に直接触れずによくふきとってから新しい電池を入れてください。また万一、液が皮膚や衣服についた時は、すぐにきれいな水で洗い流してください。液が目に入った時は、すぐにきれいな水で洗い、医師の治療を受けてください。


禁止

●充電・加熱・分解・ショートしたり、水や火の中に入れない
電池の破裂、液もれにより、火災・けがの原因となることがあります。

保守・点検について


注意

●5年に一度くらいは内部の掃除を販売店などにご相談ください
内部にほこりがたまったまま長い時間掃除をしないと、火災や故障の原因となることがあります。



●お手入れの際は安全のために、電源プラグをコンセントから外してから行ってください
感電の原因となることがあります。

末永くお使いいただくために

動作中は移動させない

●電源 ON 時にて動作中は本機を移動させないでください。ディスク再生中はディスクが高速回転しているために、ディスクを傷つける恐れがありますので特にご注意ください。

電源 ON 時に電源プラグを絶対に抜かない

●電源 ON 時に電源ケーブルを外してしまうと本機が故障したり、ディスクを破損したりする恐れがあります。本機の動作中には電源ケーブルを外さないでください。外す前には必ず電源を OFF にしてください。

設置場所についてのご注意

●水平で安定した場所を選んで設置してください。ぐらぐらする机や、傾いている所など不安定な場所には設置しないでください。ディスクが外れるなどして、故障の原因となります。
●本機を設置する場所は、本機の重さに十分に耐えられることを確認してください。
●本機が落下した場合にけがの原因となるため、高い場所への設置はしないでください。
●テレビやカラーモニターの上に本機を設置しないでください。カセットデッキなど、磁気の影響を受けやすい機器とは離して設置してください。
●本機をテレビやラジオ、ビデオの近くに置く場合には、本機を使用中、組み合わせによっては画像や音声に悪い影響を与えることがあります。万一このような症状が発生した場合は、テレビやラジオビデオからできるだけ離してください。
●次のような場所への設置は避けてください。
・直射日光のあたる所
・湿気の多い所や風通しの悪い所
・極端に暑い所や寒い所、急激な温度変化のある場所
・振動のある所
・ほこりの多い所
・油煙、蒸気、熱などがあたる所（台所など）

上に物をのせない

●本機の上に物をのせないでください。

使わないときは電源を切っておく

●ディスクトレイからディスクを取り出し、電源を OFF にしてください。

●長時間使用しないときは、電源ケーブルを外してください。

●テレビ放送やラジオ放送の電波状態により、本機の電源を ON にしたままテレビやラジオを点けると画面にしま模様が出たり、雑音が出たりする場合があります。このような場合は本機の電源を OFF にしてください。

本機を移動する場合のご注意

●本機を移動したり梱包したりする場合は、必ずディスクトレイからディスクを取り出し、ディスクカバーを閉じてください。ディスクをディスクトレイに入れたまま移動しますと、故障の原因となります。

●引越しなど、遠くへ運ぶときは、傷がつかないように毛布などでくるんでください。

再生するときの制約

●この取扱説明書は、本機の基本的な操作の仕方を説明しています。DVDビデオディスク、ビデオCDは、ディスク制作者側の意図により再生状態が決められていることがあります。本機はディスク制作者が意図した内容にしたがって再生を行うため、操作したとおりに動作しないことがあります。再生するディスクに付属の説明書もご覧ください。

●ボタン操作中にテレビ画面に「⊘」と表示されることがあります。「⊘」と表示されたときは、本機もしくはディスクがその操作に対応しておりません。

その他のご注意

●殺虫剤や揮発性のものをかけたりしないでください。

●ゴムやビニール製品を長時間触れさせることは、キャビネットを傷めますので避けてください。変色したり、印刷、塗装がはげるなどの原因となります。

●長時間ご使用になっていると、本機が多少熱くなりますが故障ではありません。

製品のお手入れについて

●キャビネットや操作パネル部分のよごれは、柔らかい布でからぶきしてください。

●よごれがひどい場合は、柔らかい布を水で5～6倍に薄めた中性洗剤に浸して、よく絞ってからよごれをふきとり、その後乾いた布でからぶきしてください。

●アルコール、シンナー、ベンジンなどは絶対に使用しないでください。変色したり、印刷、塗装がはげるなどの原因となります。

●化学ぞうきんをお使いの場合は、化学ぞうきんに添付の注意事項をよくお読みください。

●お手入れの際は、電源ケーブルを外してください。

結露について

結露はディスクや本機を傷めます。よくお読みください。

冬季などに本機を寒い所から暖かい室内に持ち込んだり、本機を設置した部屋の温度を暖房などで急に上げたりすると、内部(動作部やピックアップレンズ)に水滴がつきます(結露)。結露したままでは本機は正常に動作しません。結露の状態にもよりますが、電源ケーブルを外した状態で数時間放置し、完全に乾燥するまで待ってから電源を ON にしてください。また、夏でも、エアコンなどの風が本機に直接あたると結露がおこることがあります。その場合は、本機の設置場所を変えてください。

結露はこんなときにおきます。

・本機を寒いところから急に暖かいところに移動したとき。
・暖房を始めたばかりの部屋や、エアコンなどの冷風が直接あたるところで使用したとき。
・夏季に、冷房のきいた部屋・車内などから急に温度・湿度の高いところに移動して使用したとき。
・湯気が立ちこめるなど、湿気の多い部屋で使用したとき。

結露がおきそうなときは、本機をすぐにご使用にならないでください。

・結露がおきた状態で本機をお使いになりますと、ディスクや部品を傷めることがあります。

免責事項について

●火災、地震、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用により生じた障害に関して、弊社は一切の責任を負いません。
●本機の使用または使用不能から生ずる付随的な障害(事業利益の損失、事業の中断、記録内容の変化・消失など)に関して、弊社は一切の責任を負いません。
●取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、弊社は一切の責任を負いません。
●弊社が関与しないディスク、ファイルなどとの意図しない組み合わせによる誤動作やハングアップなどから生じた損害に関して、弊社は一切の責任を負いません。

使用できるディスク

下記のマークはディスクレーベル、パッケージ、またはジャケットに付いています。

ディスク	マーク	内容
DVD ビデオディスク	DVD VIDEO / DVD VIDEO	・12cm／8cm ・リージョン番号が2およびALL ・映像方式：NTSC
DVD−R/RW	DVD R/RW	・12cm ※ディスクによっては再生できない場合があります。
DVD+R/RW	RW DVD+ReWritable	・12cm ※ディスクによっては再生できない場合があります。
オーディオCD	COMPACT disc DIGITAL AUDIO	・12cm／8cm
CD−R CD−RW	COMPACT disc DIGITAL AUDIO Recordable / COMPACT disc DIGITAL AUDIO ReWritable	・12cm ※ディスクによっては再生できない場合があります。

●ディスクにマークがあっても、データの作り方やディスクの状態によって、再生ができない場合があります。そのような場合は、ディスクの発売元にお問い合わせください。

再生できるディスクについて

●本機は、日本のテレビ方式(NTSC)と主にヨーロッパのテレビ方式(PAL)に適合しています。
PAL のディスクを再生する場合には、PAL に対応したテレビをご用意ください。
NTSC のディスクはそのまま再生ができます。

●市販されているDVDビデオディスクでも再生できないことがあります。

再生できないディスクの種類

●リージョン番号が「2」または「ALL」以外のDVDビデオ。

●DVDオーディオ、DVD-RAMなど、使用できるディスクに記載のない規格のもの。

●フォトCD、CD-G、CD-ROM、CD-EXTRAのデータなど。

DVD±R/DVD±RWディスクの再生について

●ディスクや、データの記録状態によっては、再生できない場合があります。

●ファイナライズしていないDVD±R/DVD±RWディスクを再生することはできません。

CD-R/CD-RWディスクの再生について

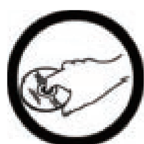
●本機は、オーディオCD、またオーディオ CD 形式で記録されたCD-R/CD-RWディスクを再生することができます。ただしディスクや、データの記録状態によっては、再生できない、ノイズが出る、音が歪むなどのことが起きることがあります。

コピーコントロール機能のついたオーディオ CD の再生について

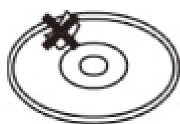
●複製制限機能(コピーコントロール機能)のついたオーディオCDの中には、正式なCD規格に合致していないものがあります。それらは特殊なディスクのため、本機で再生できない場合があります。

ディスクの取り扱いかた

●再生面には手を触れないでください。

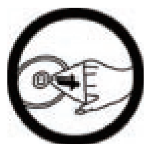



●ディスクに紙やシールを貼らないでください。



ディスクのお手入れのしかた

●ディスクに指紋、ほこりなどのよごれが付くと、画像の乱れや音質低下、音とびの原因となったり、再生できなくなります。このようなときは、柔らかい布で、ディスクの中心から外側に向かって軽く拭いてください。




●よごれがひどいときは、柔らかい布を水に浸してよく絞ってからよごれを拭き取り、その後乾いた布で水気を拭き取ってください。

●シンナーやベンジンなど、揮発性の薬品は絶対に使用しないでください。

●アナログ式レコード専用のクリーナー、静電気防止剤などは使用できません。ディスクを傷める原因となります。

ディスクの保管のしかた

●高温の場所や直射日光の当たる場所、極端に温度の低い場所を避けて保管してください。

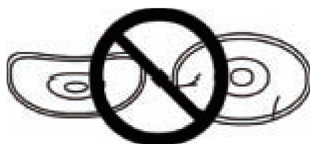
●浴室や加湿器のそばなど、湿気やほこりの多い場所には保管しないでください。

●ディスクは必ず専用ケースに入れて保管してください。専用ケースに入れずに重ねたり、立てかけたりすると、変形する原因となります。

●ディスクに付いている注意書は必ずお読みください。

ディスクについてのご注意

●損傷のあるディスク（ひびやそりのあるディスク）は使用しないでください。



●ディスクの信号面にキズやよごれを付けないでください。

●ディスクに紙やシールなどを貼らないでください。ディスクにそりが発生し、再生できなくなる恐れがあります。また、レンタルディスクはラベルが貼ってあることが多く、のりなどがはみ出している場合があり、ディスクの回転に支障が出る恐れがあります。のりなどのはみ出しがないことを確認してからご使用ください。

●ディスクを２枚重ねて再生しないでください。

特殊な形のディスクについて

●本機では、特殊な形のディスク（ハート型や六角形等）は再生できません。故障の原因となりますのでそのようなディスクはご使用にならないでください。



ディスクの結露について

●冬期などにディスクを寒いところから暖かい室内に持ち込んだとき、ディスクの表面に水滴が付くことがあります（結露）。ディスクが結露していると、正常に再生ができないことがありますので、ディスクの表面の水滴をよく拭き取ってからご使用ください。

DVDに表示されるマークについて

DVDのディスクレーベル、またはパッケージには以下のようなマークが表示されています。

マーク例	内容
2	記録されている音声の数を示します。 （左の例は、日本語、英語などのような2種類の音声が収録されています）
2	記録されている字幕の数を示します。 （左の例は、日本語、英語などのような2種類の字幕が収録されています）
3	記録されている角度（マルチアングル）の数を示します。 （左の例は、3種類の角度で収録されています）
4:3	横：縦＝4：3の標準サイズで記録されていることを示します。
LB	レターボックス（横：縦＝4：3で上下に黒帯が入っている画面）で記録されていることを示します。
16:9 LB	横：縦＝16：9のワイドサイズで記録されており、標準サイズ（4：3）のテレビの場合はレターボックスで再生されるように指定されることを示します。
16:9 PS	横：縦＝16：9のワイドサイズで記録されており、標準サイズ（4：3）のテレビの場合はパン＆スキャン（両側または片側が切れた画面）で再生されるように指定されることを示します。

リージョン番号（地域番号）

リージョン番号について

●DVDプレーヤーとDVDビデオディスクには、発売地域ごとに地域番号（リージョン番号）が設定されています。DVDディスクに表示されている地域番号（リージョン番号）と一致しないと再生できません。



本機の地域番号（リージョン番号）は“2”です。

本機で再生できるDVDディスクのリージョン番号について

●DVDビデオディスクに再生限定地域を表すリージョン番号が表示されている場合には、そのリージョンマークの中に のように“2”が含まれているか、または が表示されていないと、本機では再生できません。





著作権について

●ディスクを無断で複製、放送、上演、有線放送、公開演奏、レンタル（有償、無償を問わず）することは法律により禁じられています。

●本機は、合衆国特許権と知的所有権上保証された著作権保護技術（マクロビジョン方式）を搭載しています。この著作権保護技術の使用は、マクロビジョンコーポレーションの認可が必要であり、マクロビジョンコーポレーションの認可なしでは、一般家庭用または他の限られた視聴用だけに使用されるようになっています。また、本機を分解したり、改造することも禁じられています。

●ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー、Pro Logicおよびダブル D記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

ディスクの内容の区分

タイトル、チャプター、トラック

DVDビデオディスクは、「タイトル」という大きい区切りと、「チャプター」という小さい区切りに分かれています。



ビデオCD／オーディオCDは、「トラック」で区切られています。



タイトル　：DVDビデオディスクの内容を、いくつかの部分に大きく区切ったもの。

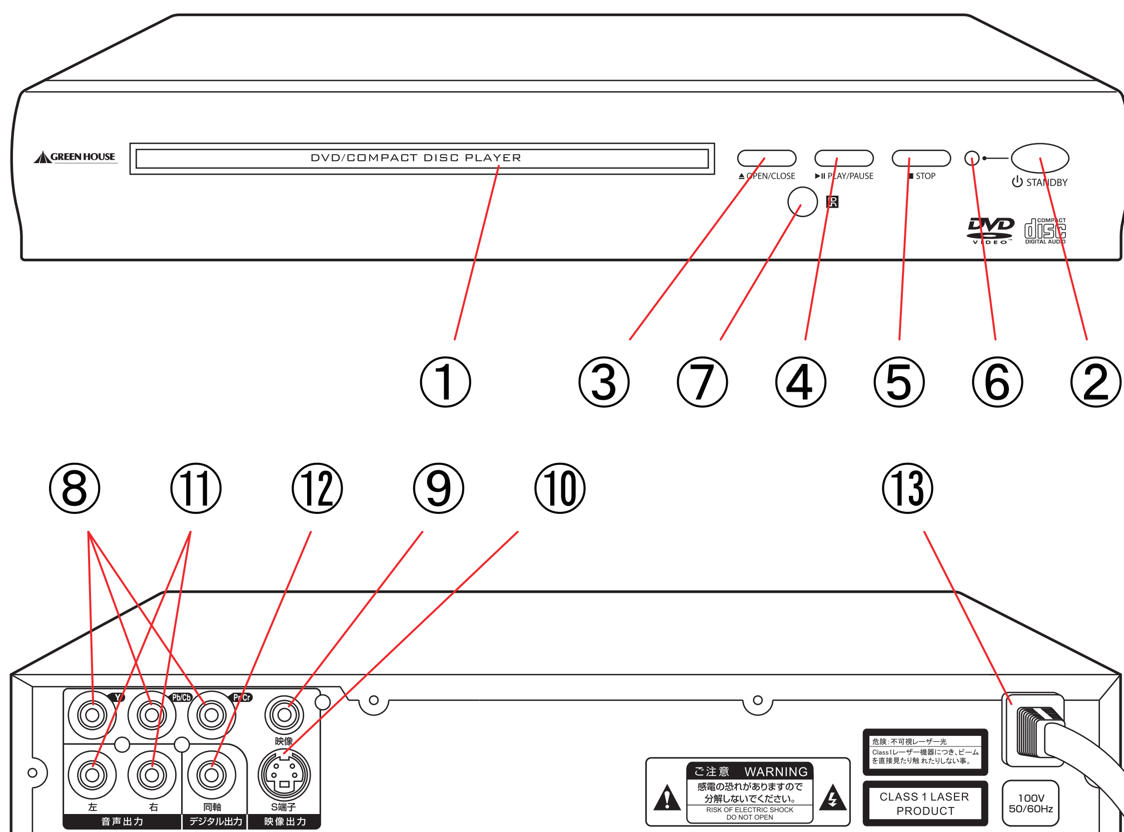
チャプター：タイトルの内容を、場面や曲ごとにさらに小さく区切ったもの。

トラック　：オーディオCDの内容を曲ごとに区切ったもの。

それぞれのタイトル、チャプター、トラックには、順番に番号がふられています。
これらの番号を「タイトル番号」、「チャプター番号」、「トラック番号」といいます。

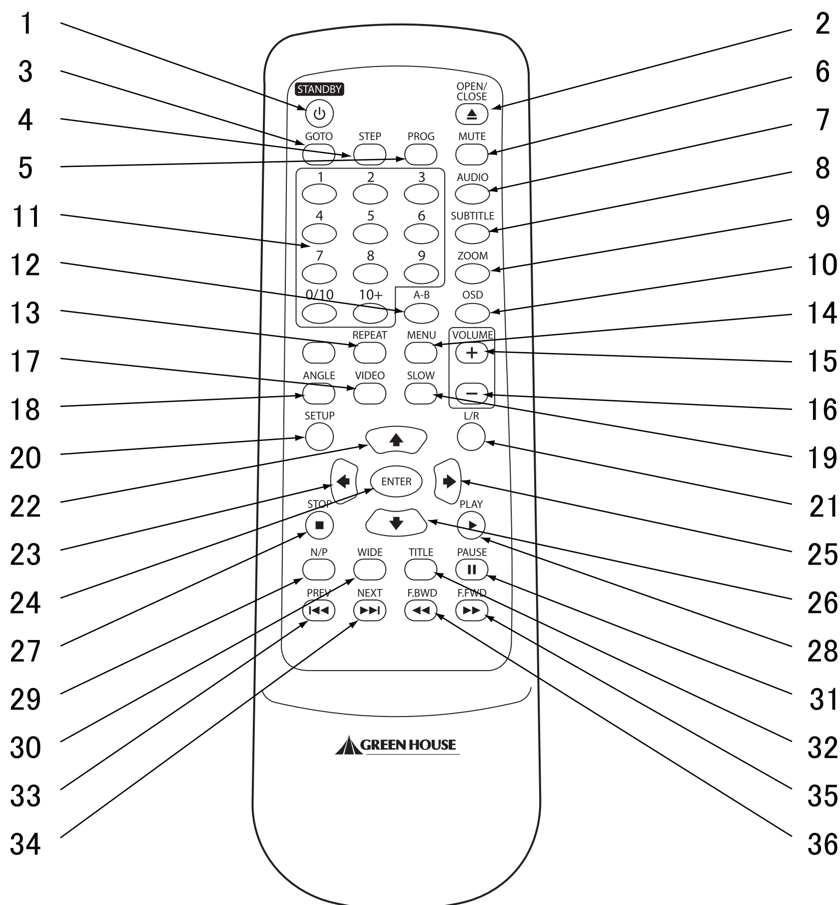
●ディスクによっては、それぞれの番号が記録されていないものもあります。

本機前面/背面図



1:ディスクトレイ
2:STANDBY ボタン
3:OPEN/CLOSE ボタン
4:PLAY/PAUSE ボタン
5:STOP ボタン
6:LED インジケータ
7:リモコン受光部
8:コンポーネント端子(Y.Pb/Cb.Pr/Cr)
9:コンポジット映像端子
10:S-VIDEO 端子
11:コンポジット音声端子
12:同軸デジタル音声端子
13:電源コード(本体直結)

リモコン



1：POWER ボタン
2：OPEN/CLOSE ボタン
3：GOTO ボタン
4：STEP ボタン
5：PROG ボタン
6：MUTE ボタン
7：AUDIO ボタン
8：SUBTITLE ボタン
9：ZOOM ボタン
10：OSD ボタン
11：テンキーボタン
12：A-B リピートボタン
13：REPEAT ボタン
14：MENU ボタン
15：VOLUME +ボタン
16：VOLUME −ボタン
17：VIDEO ボタン
18：ANGLE ボタン
19：SLOW ボタン
20：SETUP ボタン
21：L/R ボタン
22：カーソル↑ボタン
23：カーソル←ボタン
24：カーソル ENTER ボタン
25：カーソル→ボタン
26：カーソル↓ボタン
27：STOP ボタン
28：PLAY ボタン
29：N/P ボタン
30：WIDE ボタン
31：PAUSE ボタン
32：TITLE ボタン
33：PREV ボタン
34：NEXT ボタン
35：F.FWD ボタン
36：F.BWD ボタン

リモコンに電池を入れる

付属または市販の単 4 形乾電池 2 つをリモコンに入れます。

○新しい電池と古い電池、種類の違う電池を一緒に使わないでください。
○長期間ご使用にならない場合は、リモコンから電池を抜いてください。
○付属の乾電池はモニタ用のため、寿命が短い場合がありますのでご了承ください。

電源操作

電源を ON にするには

本機前面の「STANDBY」ボタンを押すと、電源が ON になります。



電源が ON になると本機前面右の LED インジケータが緑色に点灯し、画面には「GREENHOUSE」のロゴが入った壁紙が表示されます。

電源を OFF にするには

本機前面の「STANDBY」ボタンを再度押すと、電源が OFF になります。



リモコンの「STANDBY」ボタンを押しても、電源が OFF になります

電源を OFF にすると、本機の LED インジケータが赤色に点灯します。

DVD ビデオディスク、ビデオ CD、オーディオ CD を再生する

1．ディスクトレイを出します。

本機前面の「OPEN/CLOSE」ボタン、またはリモコンの「OPEN/CLOSE」ボタンを押して
ディスクトレイを出します。

2．ディスクを入れます

再生面を下にして、ディスクトレイにディスクを置きます。

3．ディスクトレイを閉めます

本体前面の「OPEN/CLOSE」ボタン、またはリモコンの「OPEN/CLOSE」ボタンを押して
ディスクトレイを閉じます。

◆本機で再生できないディスクや、ディスク以外のものをディスクトレイに入れないでください。

再生を止める

本機またはリモコンの「STOP」ボタンを押します。
再生が停止し、DVD のロゴ画面になり「■　停止」と表示されます。
オーディオ CD の場合は、常に CD 再生モード画面が表示されています。

停止した位置から再開する

本機またはリモコンの「PLAY」ボタンを押します。
一度だけ「STOP」ボタンを押した場合、本機は「STOP」ボタンが押された位置を
記憶しています。この時「PLAY」ボタンを押すと、停止した位置から再生します。
なお電源を OFF にすると、位置の記憶は失われます。

ディスクの先頭から再生する

本機またはリモコンの「STOP」ボタンを続けて 2 回押してから「PLAY」ボタンを押します。
「STOP」ボタンを続けて 2 回押すと、画面に「■　停止」と表示されます。
ここで「PLAY」ボタンを押すと、ディスクの先頭から再生が始まります。

メニュー画面

メニュー画面が記録されているDVDビデオディスクでは、メニュー画面から
タイトルやチャプターを選んでの再生や、音声や字幕の設定ができるものがあります。

リモコンの「MENU」ボタンを押します。
DVDビデオディスクに収録されたメニュー画面が表示されます。
リモコンのカーソルボタンで再生したい項目や、設定したい項目を選びます。
リモコンの「ENTER」ボタンを押すと選択した項目が決定されます。

〇メニューが記録されていないディスクでは、メニュー画面を使った再生はできません。
〇再生すると、はじめにメニュー画面が表示される DVD ビデオディスクもあります。
〇この手順は基本的な操作手順です。再生する DVD ビデオディスクの記録方式によっては
手順が異なりますので、メニュー画面に表示される手順に従ってください。
〇ディスクが対応していない操作を行うと、画面に「⊘」と表示され、操作できません。

音量調整

再生中、リモコンの VOLUME の「+」と「−」ボタンで、音量を調整することができます。

見たい場面を再生する

早送り/早戻しする

再生中、リモコンの「F.BWD」ボタンを押すと巻戻し再生に、
「F.FWD」ボタンを押すと早送り再生になります。
ボタンを押すたびに早送り 2X～16X、巻戻し 2X～16X の
スピードに変化します。
16X の状態でもう一度サーチボタンを押すと普通の再生に戻ります。
リモコンの「PLAY」ボタンを押しても戻ります。

前後のチャプター/トラックへ

再生中、本機の「NEXT」ボタン、「PREV」ボタンを押すと、
前後のチャプター/トラックを選択できます。

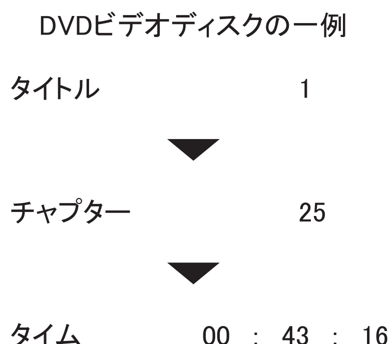
テンキーボタンを使ってサーチ再生する

チャプターまたはトラックを指定して頭出しすることができます。
リモコンのテンキーボタンで目的のチャプターまたは
トラック番号を押すと、その番号のチャプターまたは
トラックから再生されます。

10 以上の番号を指定する場合は、
リモコンの「10+」ボタンにて入力してください。
「10+」ボタンを複数回押すことで、10 の位の値が増加します。

GOTO ボタンを使ってサーチ再生する

リモコンの「GOTO」ボタンを押すことで、タイムカウントを直接入力することも出来ます。リモコンの上下カーソルキーを押すたびに、入力方法が切り換わります。



タイムカウントは、テンキーボタンを使用して入力してください。

○タイムカウントの直接入力では、再生中のディスクのタイムカウントを超えた数値の入力はできません。(「 」と表示されます。)

便利な再生機能

コマ送り再生

DVD ビデオディスクの再生中に、リモコンの「STEP」ボタンを押すと、
再生一時停止状態になります。以後、「STEP」ボタンを押すたびに
コマ送り再生となります。
通常の再生に戻るには、リモコンの「PLAY」ボタンを押します。

ズーム再生

DVD ビデオディスクの再生中に、リモコンの「ZOOM」ボタンを押すと、
ズーム再生になります。3 段階に拡大を行います。
最大ズームの時にもう一度リモコンの「ZOOM」ボタンを押すと
通常の再生に戻ります。

〇ディスクによってはズーム再生できないものがあります。
〇場面によっては、ボタン操作が正しく働かないことがあります。
〇オーディオ CD では機能しません。

ミュート（消音）

再生中、リモコンの「MUTE」ボタンを押すと消音状態となります。
消音状態を解除するには、もう一度「MUTE」ボタンを押します。

リピート再生

リモコンの「REPEAT」ボタンを押すたびにリピートモードを切り換えることができます。

DVD ビデオディスク

「チャプターリピート」	現在のチャプターを繰り返し再生します。 チャプターの最後まで来ると、チャプターの先頭から再生が始まります。
「タイトルリピート」	現在のタイトルを繰り返し再生します。 タイトルの最後まで来ると、タイトルの先頭から再生が始まります。
「リピートオフ」	リピート再生を行いません。

ビデオ CD、オーディオ CD

「一曲リピート」	現在のトラックを繰り返し再生します。 トラックの最後まで来ると、トラックの先頭から再生が始まります。
「全曲リピート」	トラックに関係なく、ディスク全体を繰り返し再生します。
「リピートオフ」	リピート再生を行いません。

Ａ－Ｂリピート再生

好みの２点間を指定して繰り返し再生することができます。

再生中、リモコンのＡＢリピートボタンを押すと、Ａ点が設定されます。
続けて再度リモコンのＡＢリピートボタンを押すと、Ｂ点が設定され、Ａ点とＢ点の間を繰り返し再生します。
通常の再生に戻るには、もう一度ABリピートボタンを押してください。

プログラム再生

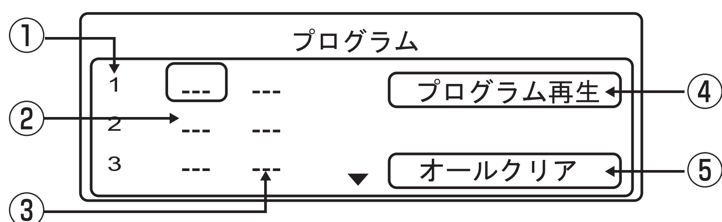
好みの順にタイトル、チャプターをプログラムして再生することが出来ます。

DVD再生停止中、または再生中にリモコンの「PROG」ボタンを押します。

画面に下図のようなメニューが表示されます。（下図はDVDディスクの一例です）

プログラムは1～16番まで登録することが出来ます。

リモコンのテンキーボタンでタイトル番号、チャプター番号を入力してください。



①：プログラム再生番号　…　再生される順番を表示しています。

②：タイトル番号　…　チャプター番号を指定します。

③：チャプター番号　…　タイトル番号を指定します。

④：プログラム再生　…　プログラム再生を開始します。

⑤：オールクリア　…　入力した内容の全消去を行います。

プログラム再生ボタンを押すとプログラム再生が開始されます。

プログラム再生を解除するには、リモコンの「PROG」ボタンをもう一度押してオールクリアを行ってください。

○ディスクのタイトル番号、チャプター番号を超えた数値の入力はできません。
○ディスクのよってはプログラム再生が正常に動作しない場合があります。

再生中の情報を表示する

再生中のディスク情報や、設定状況を画面に表示させて確認できます。

再生中に、リモコンの「OSD」ボタンを押します。

画面上部に下記のように表示されます。（下記はDVDビデオディスクの一例です）

タイム　　　00:01:35

このディスク情報が表示されている状態でリモコンの「OSD」ボタンを押すと、「DVDビデオ」→「タイム」→「タイトル」→「チャプター」→「音声」→「サブタイトル」→「アングル」→「Bitrate」の順番に表示が切り換わります。

〇ディスクの状態によっては、時間等が正常に表示されない場合があります。

音声を切り換える

複数の音声が記録されているディスクでは、音声を切り換えることができます。

再生中、リモコンの「AUDIO」ボタンを押します。
ボタンを押すたびに、再生される音声が切り換わります。

〇ディスクによっては、メニュー画面を使って音声を切り換える場合があります。
〇一つの音声しか記録されていないディスクでは、音声の切り換えはできません。

字幕を切り換える

字幕が記録されているディスクでは、字幕の表示／非表示を切り換えられます。
複数の字幕が記録されているディスクでは、字幕を切り換えることができます。

再生中、リモコンの「SUBTITLE」ボタンを押すと、
表示される字幕が切り換わります。

〇ディスクによっては、メニュー画面を使って字幕を切り換える場合があります。
〇字幕が記録されていないディスクや、一つの字幕しか記録されていないディスクでは、
字幕の切り換えはできません。

アングルを切り換える

複数アングルが記録されているディスクでは、アングルを切り換えることができます。

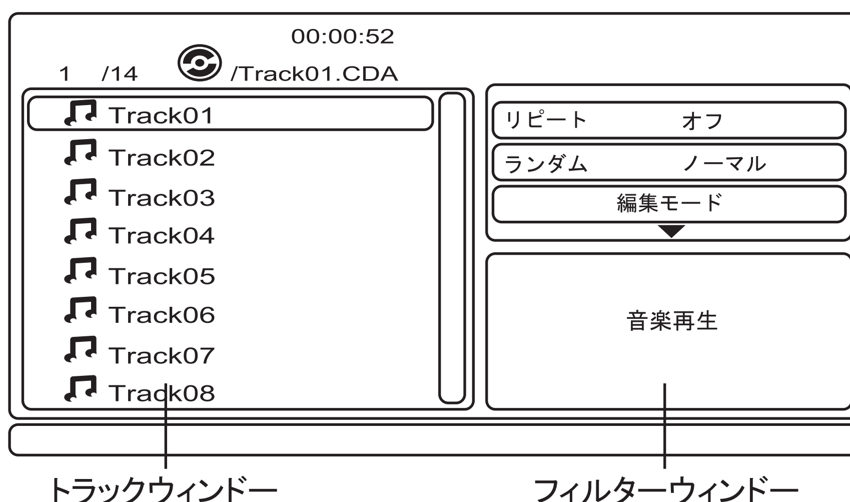
再生中、リモコンの「ANGLE」ボタンを押すたびに、
再生されるアングルが切り換わります。

〇ディスクによっては、メニュー画面を使ってアングルを切り換える場合があります。
〇一つのアングルしか記録されていないディスクでは、アングルの切り換えはできません。

オーディオ CD 再生モード

オーディオ CD メニュー

本機では、DVD-Video形式以外にオーディオCDの再生にも対応しております。
オーディオCDを挿入すると下図のメニュー画面が表示されます。



カーソルボタンで 再生したいトラックを選択し、本機の「PLAY/PAUSE」ボタン、リモコンの「ENTER」または「PLAY」ボタンを押してください。曲が再生されます。

○トラックの順番は、収録されている曲順の通りに割り振られます。
○表示可能なファイル名は半角英数で14文字までとなっております。
　曲名は正常表示されませんのでご注意ください。

リピート/ランダム再生

リピート再生

再生中、リモコンの「REPEAT」ボタンを押すたびに、「一曲リピート」
「オールリピート」「リピート オフ」の切り換えができます。
または、オーディオCD再生画面右側のフィルターウィンドーで、
「リピート」の項目を選択すると、同様にリピートモードの切り換えができます。

ランダム再生

フィルターウィンドーにて、「ランダム」の項目を選択すると、
「ノーマル」「組替再生」「ランダム」と切り換えができます。
「組替再生」は収録されている曲の再生順番を組み替えて全曲再生します。
「ランダム」は停止ボタンを押すまで収録曲をランダムに再生をします。

プログラム再生

自分の好きな曲順で再生出来る、プログラム再生モードを利用できます。

プログラム再生リスト作成手順

1. フィルターウィンドーから「編集モード」にカーソルを合わせて「ENTER」を押します。
2. トラックウィンドーからプログラムしたい順番にトラックを選択して「ENTER」ボタンを押していきます。（選択したトラックにチェックマークが入っていきます。）
3. フィルターウィンドーから「プログラム入力」にカーソルを合わせて「ENTER」を押します。（プログラム再生リストが本機に記憶されます。）
4. フィルターウィンドーから「プログラム表示」を開くと、プログラムしたトラックのみがトラックウィンドーに表示されます。
5. リモコンの「PLAY」を押すとプログラム再生が開始されます。

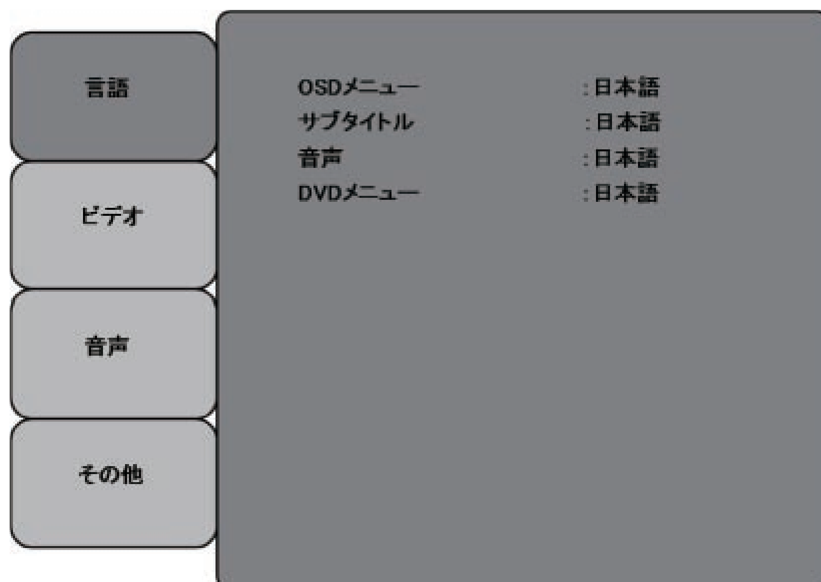
プログラム再生リスト削除手順

1. CDが再生されている場合はリモコンの「STOP」ボタンを2回押して停止します。
2. 作成手順の「4.」の状態から削除したいトラックにチェックマークを入れていきます。
3. フィルターウィンドーの「オールクリア」を選択するとリストからトラックを削除できます。（通常画面に戻るにはフィルターウィンドーから「ブラウザ-ビュー」を選択してください。）

セットアップ画面の操作

セットアップメニュー

本機の設定を変更するには、セットアップ画面で設定します。
セットアップメニューはリモコンの「SETUP」ボタンを押すといつでも呼び出せます。



言語：DVD に複数の言語（日本語+英語など）が収録されている場合、
この言語メニューで設定ができます。
本機では、日本語と英語に対応しています。

- **OSD メニュー**　セットアップメニューや OSD（On Screen Display）で表示される言語を設定します
- **サブタイトル**　字幕の言語設定を行います。
- **音声**　音声の言語設定を行います。
- **DVD メニュー**　DVD のメニュー画面の言語を設定します。

ビデオ：本機のビデオ出力に関する設定を行います。

- **テレビ形式**　接続するテレビの形式を設定します。
ブラウン管などスクエア（四角）タイプのテレビは「4：3」を
液晶などワイドタイプのテレビは「16：9」を選択します。

・View Mode　DVDの映像が「16:9」でテレビ形式が「4:3」の場合に、
映像の表示方法を設定します。
（ワイドテレビでは設定する必要はありません）

-**フルサイズ**　映像全体がテレビに映るように表示します。
映像全体を横方向に圧縮しますので、
縦長の映像表示になります。

-**オリジナル**　ディスク側で設定されている表示方式で再生。

-**自動**　テレビに合わせて自動で表示を行います。

-**パンスキャン**　映像の中央部を切り出して拡大表示します。
映像の縦横の比率（アスペクト比）は、
正しく表示されますが、映像の左右が切れます。
（パンスキャンはディスクによっては、
利用できない場合があります）

-アスペクト比と映像表示について-

DVDビデオでは、通常の「4:3」で記録されているディスクの他に、
「16:9 LB」と「LB」で記録されているディスクがあります。
「16:9 LB」は、4:3のテレビ向けにはスクイーズ方式（映像を横方向に圧縮）で
記録されていますので、本機でView Modeをフルサイズやオリジナルに設定すると、
スクイーズ方式で表示を行います。アスペクト比を正しく設定したい場合には、
自動かパンスキャンに設定してください。画面上下に黒帯が表示されますが、
アスペクト比が正しく表示されるレターボックス形式で表示を行います。

「LB」は16:9、4:3いずれのテレビにもレターボックス形式で表示を行います。

・TVシステム　TVの放送方式を設定します。本機では、
日本のTV放送方式である「NTSC」と、
主にヨーロッパで採用されている「PAL」方式の両方に
対応しております。
ご使用のテレビに合わせて設定してください。

・ビデオ出力　本機の映像出力をどの端子から行うかを設定します。

-S-VIDEO　本機付属のコンポジット AV ケーブルや、市販の S-VIDEO ケーブルで出力する場合に選択します。

-Component コンポーネント端子から出力します。S-VIDEO やコンポジットの接続よりも高画質な映像をお楽しみいただけます。別途、市販のコンポーネントケーブルをご用意ください。

-自動　プレーヤーが自動で判別します。

-誤ってビデオ出力設定を変更してしまった場合-

本機のビデオ出力設定で、使用中のテレビでは出力できない設定を行った場合、
（例：コンポジット端子しかないテレビでビデオ出力をコンポーネントにする）
テレビ側には何も表示されなくなります。
この状態になった場合は、いったん本体の「OPEN/CLOSE」ボタンを押して、
ディスクを本体から取り出してください。
（ディスクを取出す事で再生待機状態に戻ります）
この状態で、リモコンの「VIDEO」ボタンでビデオ出力設定を変更してください。
「VIDEO」ボタンは、連続して 2 回押すごとに他の出力形式に切り換わりますので、
映像が表示されるまで何度か押してください。

音声：本機のデジタル音声出力に関する設定を行います。

・デジタル出力　デジタル端子からの音声出力を以下の様に設定します。

-オフ　デジタル出力を利用しません。

-LPCM　LPCM 方式で出力します。

-自動　ドルビーデジタルなどのデジタル出力を利用する場合に選択します。

その他：その他の設定を行います。

・初期設定　本機の設定を工場出荷時の設定に戻します。

・スクリーンセーバー　スクリーンセーバーの設定を行います。

故障かな？と思ったら

電源が入らない	●電源プラグをコンセントへしっかりと差し込んでください。
映像が映らない	●電源は ON になっていますか？ ●本機とテレビとの映像/音声端子の接続が正しく設定されているかをご確認ください。 ●セットアップ画面、またはリモコンの「VIDEO」ボタンで接続した端子と映像/音声出力設定を同じ設定してください。
再生できない	●本機で再生できるディスクか確認してください。 ●DVDディスクはリージョン番号を確認してください。本機のリージョン番号は「2」です。 ●ディスクが汚れている場合は、きれいにふいてください。 ●ディスクはラベル面を上に正しくセットしてください。 ●ディスクがトレイに正しくセットされているか確認してください。 ●寒いところから急に暖かいところに持ってきたときなどに、レンズ部に露が付くことがあります。1～2時間放置してください。 ●セットアップ画面の「ビデオ」の設定を確認してください。
映像が白黒になる	●ディスクの映像タイプを確認してください。
映像が乱れる	●ディスクが汚れている場合は、きれいにふいてください。 ●サーチ再生中は多少乱れが出ることがありますが、故障ではありません。
音声が出ない	●本機、リモコンの音量レベルを確認してください。 ●再生一時停止中、ステップ再生中に音声は出ません。 ●セットアップ画面の「音声」設定を確認してください。

リモコンがきかない	●電池の＋、－の向きを確認してください。 ●電池が消耗している場合は新しいものと交換してください。 ●リモコンを本機のリモコン受光部に向けて操作してください。 ●リモコンとリモコン受光部の間の障害物を取り除いてください。
字幕言語が 切り換えられない	●字幕の入っていないディスクでは切り換えできません。 ●複数の字幕の入っていないディスクでは切り換えできません。 ●「SUBTITLE」ボタンで切り換えられないディスクの場合、 ディスクのメニュー画面などで切り換えできる場合があります。
字幕が出ない	●字幕の入っていないディスクでは字幕は表示されません。 ●字幕が「オフ」になっている場合は、「SUBTITLE」ボタンで 切り換えてください。
音声言語が 切り換えられない	●複数の音声の入っていないディスクでは切り換えできません。 ●「AUDIO」ボタンで切り換えられないディスクの場合、 ディスクのメニュー画面などで切り換えできる場合があります。
アングルを変えて 見ることができない	●複数のアングルの入っていないディスクでは切り換えできません。 ●複数のアングルが記録されている場面でのみ切り換えできます。
4:3 で収録された 映像を、4:3 で見る ことができない	●リモコンの「SETUP」ボタンにて表示される「ビデオ」メニューの 「テレビ形式」項目にて、「16:9」から「4:3」に変更してください。
すべての設定を 初期設定に戻したい	●セットアップ画面の「その他」から「初期設定」を選択し、 工場出荷時の設定に戻してください。

仕様

製品型番	GH-DV100S/K
再生可能ディスク	DVD ビデオ/オーディオ CD/CD-R/CD-RW/DVD±R/DVD±RW
再生可能フォーマット	DVD-Video/Audio CD
信号方式	NTSC/PAL(手動切換可能)
音声周波数特性	20Hz～20KHz
S/N 比	75dB
ダイナミックレンジ	85dB
搭載出力端子	コンポーネント端子(Y,Pb/Cb,Pr/Cr)×各 1 S-VIDEO 端子×1 コンポジット映像端子×1 コンポジット音声端子(L/R)×各 1 同軸デジタル音声端子×1
電源	AC 100V 50/60Hz 12VA(本体に直結)
消費電力	8W
動作温度範囲	0℃～45℃
動作湿度範囲	10～80%(結露なきこと)
外形寸法	W 260 x D 255x H 38 (mm)(本体のみ)
重量	約 1.3kg(本体のみ)

○仕様および本機のデザインは、改良のため予告なしに変更することがあります。

製品構成

製品構成

●GH-DV100S/K（本体）	・・・1 台
●専用リモコン	・・・1 個
●映像/音声出力専用ケーブル(コンポジット)	・・・1 本
●単 4 形アルカリ乾電池(リモコン用)	・・・2 本
●取扱説明書(本書)	・・・1 部
●1年間保証書	・・・1 枚

故障修理について

故障・修理についてのお問合せは、下記のサービス窓口にてご相談ください。

サポート窓口	グリーンハウス　カスタマサポート
URL	http://www.green-house.co.jp/
サポートダイヤル	03-5421-5749
受付時間	10:00～12:00／13:00～17:00（土、日、祝日を除く弊社営業日のみ）
FAX	03-5421-2266（24時間受付）
住所	〒153-0013　東京都渋谷区恵比寿 1-20-22　三富ビル4階

カスタマサポートダイヤルの時間は、予告なく変更する場合があります。ご確認はホームページにてお願い致します。

サポートを受ける為にはユーザー登録が必要になります。当社ホームページよりご登録お願い致します。

ご使用上のご質問、お問い合わせは当社ホームページ内のお問い合わせフォームよりお願い致します。(http://www.green-house.co.jp/support/index.html)

◆本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一誤りや記載漏れ等お気づきの点がありましたら、お買い上げの販売店までご連絡ください。

◆乱丁、落丁はお取替えいたしますので、お買い上げの販売店までご連絡ください。


GREEN HOUSE